

松魂の風

令和2年度
松橋中学校
校長通信 第2号
文責 校長 岩村 浩一

夢育タイムに思いを馳せて

下は、昨年度県学力調査の一部で、上が現2年、下が現3年生の結果です。

将来、あんな人になりたい、こんな事がしたい、こんな仕事につきたいという、夢や目標がありますか。

選択肢	はっきりした目標がある	いちおうある	思いつかない	まったくない	その他	肯定率
全国	47.3	35.0	12.8	4.3	0.6	82.3
県	39.1	37.3	17.1	6.0	0.5	76.4
学校	31.9	36.2	24.0	6.7	1.2	68.1

選択肢	はっきりした目標がある	いちおうある	思いつかない	まったくない	その他	肯定率
全国	36.3	39.7	17.8	5.7	0.4	76.0
県	32.2	41.5	20.3	5.7	0.2	73.8
学校	26.7	46.5	22.3	4.0	0.5	73.3

分析すると次のような問題が浮かび上がります。

- ・約3割の生徒が目標や夢を持っていない状況
- ・本校の肯定率は県、全国どちらにも及ばない状況

ところで、夢とは何か、少し考えてみます。
例えば、次のような夢をどう思いますか？

ア 大金持ちになりたい イ YOU TUBER になりたい

今の子どもたちによくある夢ですね。

持論ですが、夢とは「志」であるべきと考えます。

よく似ているものに「野心」がありますが、志と野心では大きな違いがあります。

野心とは自分一代限りのものであるのに対し、志とはたとえ自分が達成できなくとも次の誰かに引き継がれていく継続性があります。

「医者になりたい」「YOU TUBER になりたい」という願いがあるとします。しかしそれはまだ目標であり、野心なのか志なのかで、生き方が違ってくると思うのです。

大金持ちになりたいのが野心、癌に苦しむ人々を救いたいと思うのが志です。

志が決まれば、それを達成させるいくつかの職業が見えてくることでしょう。

同じ志を持った人に興味を持ち、素晴らしい人にも出会うことでしょう。

最近思うのですが、大事なものは職業そのものよりも志です。 ～次項に続く～